



我（わ）が家（や）の防災会議（ぼうさいかいぎ）

地震（じしん）や津波（つなみ）などの災害（さいがい）のときのために、普段（ふだん）から家族（かぞく）で考（かんが）えることが大切（たいせつ）です。

日頃（ひごろ）から家族（かぞく）で話（はな）し合（あ）い、災害（さいがい）に備（そな）えましょう。

- 1 災害（さいがい）のときの家族（かぞく）の連絡先（れんらくさき）を確認（かくにん）しましょう。家族（かぞく）の会社（かいしゃ）や学校（がっこう）の電話番号（でんわばんごう）のリストを作（つく）りましょう。災害（さいがい）のときに家族（かぞく）が集（あつ）まる場所（ばしょ）も決（き）めておきましょう。
- 2 大（おお）きい災害（さいがい）があると、電話（でんわ）やメールがなかなかつながりません。NTTや携帯電話会社（でんわがいしゃ）は、安否確認（あんぴかくにん）のためのサービスをしています。練習（れんしゅう）もできますから、一度（いちど）やってみましょう。
- 3 災害（さいがい）のときに、どんな物（もの）がいるか考（かんが）えましょう。例（たと）えば、食（た）べ物（もの）や水（みず）などは家族全員（かぞくぜんいん）の3日分（みっかぶん）くらいを準備（じゅんび）しましょう。また、持（も）って逃（に）げる物（もの）は、すぐ持（も）てるように、前（まえ）もって袋（ふくろ）に入（い）れておきましょう。お金（かね）や銀行（ぎんこう）の通帳（つうちょう）、パスポートなどの大切（たいせい）な物（もの）も、すぐに持（も）てるようにしておきましょう。誰（だれ）が何（なに）を持（も）つか決（き）めておくといいです。
- 4 家（いえ）の中（なか）を安全（あんぜん）にしましょう。災害（さいがい）のときに、テレビや家具（かぐ）が倒（たお）れないように固定（こてい）しましょう。特（とく）に寝（ね）ているところの周（まわ）りには、家具（かぐ）を置（お）かないようにしましょう。

くわしいことは、とやま国際（こくさい）センターのホームページにもあります。ぜひ見（み）てください。